

紫川・東谷川及び板櫃川洪水ハザードマップ



あわせて、「北九州市防災ガイドブック」を確認しておきましょう。
避難に活用できる気象情報・水位情報や非常持ち出し品リストなど、
より詳しい内容を掲載しています。

防災ガイドブック掲載URL
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kiki-kanri/13801096.html>



発行 平成31年2月

問い合わせ先 北九州市危機管理室危機管理課
〒803-8501北九州市小倉北区城内1-1
TEL : (093)582-2110

洪水避難の心得

気象情報・水位情報・避難情報を積極的に集め、浸水前の安全なうちに避難しましょう。大雨に伴い土砂災害が発生することもあります。

浸水した後は、より高い場所へ避難しましょう。



これらの情報は、登録制防災メール及びLINE等により入手できます。

[登録方法はこちら](#)



避難情報 避難情報は、テレビ・ラジオ、緊急速報メール（エリアメール）、インターネット、広報車などからも入手できます。

避難準備・高齢者等避難開始

避難にかかる方とその支援者は避難行動開始

避難勧告や避難指示（緊急）を発令する

ことが予想される状況

避難勧告

すべての住民の方は速やかに避難行動開始

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった状況

避難指示（緊急）

すべての住民の方は直ちに避難行動開始

災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった状況

災害発生後



原則 / 早めの避難

浸水前の早い段階で安全な場所へ

水の中を避難するのはとても危険です。

浸水前の避難にどの情報が活用できるかを北九州市防災ガイドブックなどで確認し、避難のきっかけをつかみましょう。

早い段階での避難先

避難できる安全な場所を記入しましょう。

[記入欄](#)

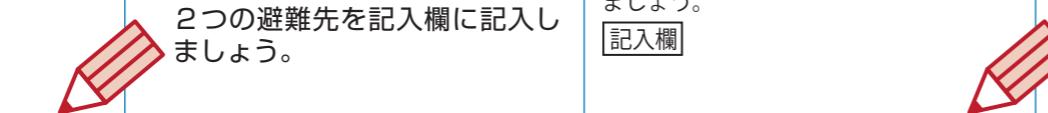
裏面を参考に、避難所に限らず、お住まいの地域の状況を確認し、2つの避難先を記入欄に記入しましょう。



逃げ遅れたときの避難先

近くにある高い建物や高い場所を記入しましょう。

[記入欄](#)



このハザードマップに使用した紫川・東谷川及び板櫃川の浸水想定区域図について

平成27年5月の水防法の改正に基づいて、平成30年4月に福岡県は想定最大規模の降雨により紫川・東谷川及び板櫃川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域と浸水深等を公表しました。

このハザードマップは、想定最大規模の浸水想定を基に作成しています。

登録制防災メール及びLINE

もらって安心

災害情報配信サービス（北九州市）

気象情報、避難情報等

[登録メール](#) e-kitakyushu@xpressmail.jp

防災メール・まもるくん（福岡県）

気象情報、避難情報等

[登録メール](#) mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp

北九州市LINE

市政情報、避難情報等

LINEの検索欄で「北九州市」を検索



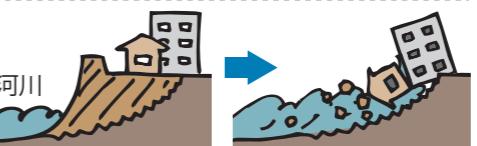
裏面を見て、自宅（事業所）がこのような区域にある場合には、自宅（事業所）以外への避難が必要です。

流速が速く、木造家屋が倒壊する
おそれがある区域



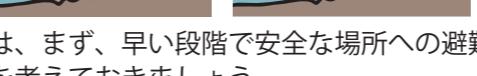
裏面のマップでは、

洪水の際に地面が削られる
おそれがある区域



裏面のマップでは、

河川



いずれかにあてはまる場合には、まず、早い段階で安全な場所への避難を考えましょう。また、逃げ遅れたときの避難先として、近くの高い建物などを考えておきましょう

居住階が水に浸かってしまう
おそれがある区域



裏面のマップでは、
5m以上 3階床上浸水が予想される
3~5m未満 2階床上浸水が予想される
0.5~3m未満 1階床上浸水が予想される
0.5m未満 1階床下浸水が予想される

浸水が長引くと、とどまることが可能でも孤立するため、浸水前に浸水想定区域外に避難することが重要です。

継続時間マップ 泉台・到津小学校周辺地域
浸水継続時間

この地図は、紫川・東谷川及び板櫃川が氾濫したときに、0.5m以上の浸水がどのくらいの期間続くかを示しています。想定を超える大雨や支川の決壟などにより、浸水が長く続いたり浸水域がさらに広がったりする可能性があります。

凡例

浸水継続時間（浸水深0.5m以上）

12時間未満

12時間～1日未満

1日～3日未満

3日～1週間未満

